



OTC 薬、プライマリケアを対象とする

## 薬剤師の臨床判断ワークショップ 対象症候『頭痛』

日本アプライド・セラピューティクス学会では、医療のどの場面においても、医薬品が科学的、合理的、経済的に、患者の希望にも即して選択され、治療が的確に遂行されることを目標に活動を行っています。

OTC薬（一般用薬）は、地域の医療システムの中では重要な地位を占めます。初めて患者が医療システムに接触する場所がドラッグストア、薬局であり、OTCが対象となります。OTC薬を取り扱う者としては、この場に医療の入り口をあずかる者としての意識と責任と能力が必要です。

OTC薬での治療が妥当とされる患者さんと、代替の方法を推奨する患者さんを適切に判断し、OTC薬での治療が妥当とされる場合にも、適切なOTCの製品が選択されるべきであり、そのための、患者判断の指針が確立することが必要と考えています。日本アプライド・セラピューティクス学会では、良くある症候を対象とする『薬剤師の臨床判断ワークショップ』を積み上げながら、患者判断の指針の確立を目指すことを考えました。

「頭痛」は薬局に健康相談で来局される方の代表的な症候です。皆さんは「頭痛」を訴える患者さんに、薬局窓口でどのように対応されているでしょうか。患者さんの病態を反映する情報や所見を自ら収集して疾患を推測し、さらに薬剤師が適切な対処法を選択して（トリアージ）提案できるよう、演習と実習を通じて実践能力を向上させ、セルフメディケーションを支援するプライマリケアの担い手としての実力を向上させましょう。

日時：2011年12月4日（日）9:00～18:00（受付開始：8:30）

会場：明治薬科大学総合教育研究棟フロネシス セミナー室

<http://www.my-pharm.ac.jp/>

### 概要

#### 1) 「頭痛」に対する臨床判断

頭痛患者からの情報収集と疾患の鑑別

頭痛患者に対するトリアージのプラン作成

— グループ討議とロールプレイを中心に —

#### 2) フィジカルアセスメント

基本的なバイタルサインの測定方法

— 聴診、血圧測定などの実習 —

募集人数：30名（1グループ10名）

参加費：会員 5000円 非会員：8000円

参加申込：添付の申込用紙にご記入のうえ、学会事務局宛お送りください [ats@mycom.co.jp](mailto:ats@mycom.co.jp)

参加締め切り：11月10日（先着順）（延長しております）

日本アプライド・セラピューティクス学会 OTC薬検討委員会